

# NOSAI

平成28年 冬

第 7 号

農の力を未来へつなぐ

- 1P 年頭のご挨拶  
組合長理事 門出 進
- 3P **特集** 共済金支払い状況
- 5P みんなのひろば
- 7P Kirara きらら
- 9P NOSAI掲示板
- 9P ふれあい通信
- 10P 山口大学農学部教授  
山本晴彦先生の  
よくわかる  
農業気象学講座 III
- 裏表紙 旬の野菜クッキング

平成28年

# 年頭のご挨拶



組合長理事

明 土 進

あけましておめでとうございます。組合員の皆様には、ご家族おそろいで新年をお迎えになられ謹んでお喜び申し上げます。

県域化のもと農業共済事業に、組合員を始め、組合をお支えいただいております各基盤組織の皆様方にはこの上ないご協力とご尽力を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年の生産環境は、低温、長雨、日照不足に加え8月下旬の台風15号の襲来など気象変動や鳥獣害により農作物全般に悪影響を蒙る結果となっています。

また、台風による園芸施設の倒壊や軟弱田での稲刈りに加え、農機具や建物の損傷も多発しています。このような状況下、NOSAIでは可能な限りの制度対応に努めているところです。

さて、農業情勢は新たな食料・農業・農村基本計画に基づき、今後10年を目途に国内食料自給率を45パーセントとし、産業政策と地域政策を両輪に強い農業・美しい活力ある農村の実現、地方創生が打ち出されました。本県の農業は、水稲で見ますと平成27年産では約10万7百トンの生産量となっていますが、関東以西で10万トンを超えるのは、27府県中12県でありますことから、県内農業の持続対

本年も

よろしくお願

い申し上げます

組合長理事

副組合長理事

職務代理者理事

門出 進  
吉本 知  
古谷 幸  
板垣 幸  
杉本 孝  
常藤 隆  
下土井 進  
西岡 宏  
歳光 時  
中川 竹  
中村 哲  
金子 敏  
藤野 克  
長尾 忠  
田中 敏  
末富 善  
縄田 國  
霜田 洋  
河野 壽  
藤井 勝  
廣田 克  
前野 伊  
藤岡 和  
大賀 克  
安野 正  
袴田 光  
外職員 同

代表 監事

同

5月 ミラノ国際博覧会で  
山口県の食の魅力を中心に世界へ発信

平成27年5月、イタリアで開催された「ミラノ国際博覧会」にふぐ・日本酒・小野茶など日本の食文化を中心に山口県が日本館に出展。大勢の来場者が行列を作るなど、大好評のうちに山口県の魅力を世界に発信した。



オープニングセレモニー(写真提供:山口県農林水産部 農林水産政策課)

8月 台風被害、山口県の農業に影響

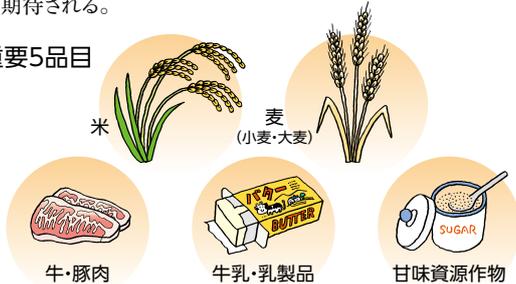
平成27年は6号、11号、12号、15号と4個の台風が上陸または接近し、山口県の農業に被害をもたらした。中でも強い台風15号は8月25日、防府市で最大瞬間風速39.6メートル、長門市では1時間雨量が史上最大の78.0ミリと、ビニールハウス倒壊を中心とした大きな災害をまねいた。



10月 TPP交渉が大筋で合意

日本が交渉に参加して2年、先送り続きで難航していたTPP交渉が10月5日に大筋合意となった。農業分野での「聖域」とされてきた農畜産物重要5品目では輸入枠設定や関税の大幅削減など非難の声が上がる中、これからの政府の対応が期待される。

重要5品目



策とともに地域環境の保全に総力を挙げての取り組みがますます重要となっております。そのような状況の中、TPP交渉が大筋合意され、輸入聖域とされていた農畜産物重要5品目までもが対象となり、今後、慎重な国会審議とともに国内の農業が疲弊し食料輸入に頼る貧国にならないためにも国内農業への強い支援対策が最も重要な課題となっております。

私たち役職員は、国の農業災害補償制度としての事業使命と役割を果たしてまいりますとともに業務の効率化など信頼され、親しまれる組合運営を目指し努力してまいります。今後とも一層のご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

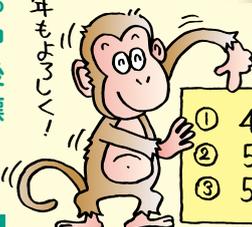
結びに、新しい年が皆様にとりまして幸多き年でありますようご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

NOSAIクイズ

第1問

現在、農林水産省発表「日本の食料自給率」は39%となっており、先進国の中では最下位です。10年後の国内食料自給率の目標値は何%でしょうか？3択からお答えください。

本年もがんばり〜



- ① 45%
- ② 50%
- ③ 55%

前年の改心したサルくん

ヒント

門出 組合長理事の挨拶にあります。



応募方法は、8ページへ

## 補償の拡充後のはじめての大災害(台風15号)

240棟被害(うち17棟全壊)

# 支払った共済金1,370万円

平成27年8月25日、下関市付近を通過した台風15号により被害にあわれた方々より「補償が拡充しさらに安心」と意見が寄せられています。

### 制度拡充で安心

8月25日の台風15号の影響で、ハウスが潰れました。制度改正でパイプの補償が手厚くなったことで、ハウスを再建するにあたって自己負担が少なくなり、助かっています。災害がないことが一番ですが、万が一、自然災害などによってハウスが大きな被害に遭った時、それなりの共済金が出るという安心感がありますね。

江村 征子さん(周南市須々万上市)



### 備えあれば憂いなし



過去の被害で共済金が少なく、加入をやめていた時期に竜巻で全棟(7棟)全壊し、友達に助けてもらいやつとの思いで再建しました。その教訓から「備えあれば憂いなし」と共済に再度加入し、今回の台風で2棟が全壊しました。共済金の額はあまりあてにはしていませんでしたが、以前より多くの共済金がもらえてとても助かりました。

藤井 知恵子さん(山口市名田島新開作西)

### 続けて加入して良かった

備えはしっかりしていましたが、想像以上の強風と風向きも悪かったのか、思った以上に被害を受けました。以前別のハウスが潰れたことがあります。今回ほど共済金は多くなかったように記憶しています。共済の加入を続けていて本当に良かったです。

東 美保子さん(下関市安岡山中)



### 自然災害等に備えて、災害対策の基本となる

園芸施設共済へのご加入をおすすめします。(平成27年2月から補償が拡充されました)

**1 耐用年数の見直し**  
全ての型式で耐用年数が見直されました。パイプハウスの場合、施設本体の耐用年数は5年から10年になりました。

**2 補償価額の引上げ**  
施設本体と附帯施設の耐用年数経過後の補償価額が再建築価額の20%から50%に引上げられ補償金額が増加しました。

**3 復旧費用の追加**  
被災した施設本体と附帯施設を復旧するための費用です(農家選択)。

**4 撤去費用の対象が拡充**  
被災した施設本体を撤去するための費用です。パイプハウスも撤去費用の補償対象に追加されました(農家選択)。



## 水稲【農作物共済】

平成27年産水稲は全県的に6月下旬からの曇雨天により、山間部のみならず平坦部においてもいもち病が発生しました。8月25日の台風15号の通過に伴い、出穂していた圃場では強風による籾ずれが発生し、品質・収量ともに低下しました。

また、収穫期には県下全域の中山間地において猪・猿・鹿等の被害が発生しました。



台風による籾ずれ  
(出穂直後)

防府西浦(いもち)

### ●平成27年産水稲共済金支払状況

支所	加入状況			損害評価高				
	戸数(戸)	面積(a)	共済金額(円)	戸数(戸)	面積(a)	支払共済金(円)	金額被害率(%)	
本所管内	佐波	2,427	171,318.4	1,055,243,599	127	5,651.9	9,429,270	0.9
	本所(吉山)	2,961	288,059.2	1,983,640,250	92	2,822.0	5,998,128	0.3
	厚狭地区	2,162	190,457.8	1,240,023,842	102	2,830.3	7,384,758	0.6
	阿東	681	149,233.6	932,894,254	37	4,068.4	9,559,656	1.0
東部管内	阿武荻	1,815	229,866.4	1,394,283,899	86	2,762.7	5,978,212	0.4
	東部総合	2,773	116,001.1	688,799,672	143	3,880.0	5,407,328	0.8
	田布施	2,889	166,002.4	1,001,924,292	115	2,854.7	6,021,182	0.6
西部管内	周南	2,746	134,391.0	812,871,901	105	2,808.4	5,000,424	0.6
	西部総合	3,235	364,151.2	2,288,298,090	140	6,112.3	10,949,127	0.5
	長門	1,620	167,267.0	962,468,972	131	4,240.8	9,151,080	1.0
組合	美祢	1,626	181,621.0	1,083,262,201	152	7,679.5	15,112,538	1.4
	一筆方式	24,787	2,087,282.9	12,890,127,695	1,228	45,005.6	89,274,301	0.7
	半相殺方式	107	22,422.3	175,830,818	1	76.8	64,914	0.04
	全相殺方式	12	14,150.6	110,848,890				
	品質方式	29	34,513.3	266,903,569				
方式計	24,935	2,158,369.1	13,443,710,972					

損害評価とりまとめ中

## 麦【農作物共済】

平成27年産麦は天候不順により播種の遅れた地域も多く、その後も2月まで断続的に降雨が続いたため、発芽不良や生育不良の発生した圃場が多くなりました。一般的には播種期・収穫期の早い二条大麦・はだか麦においては降雨の多い時期と重なり生育回復期間が短かったため収量はやや少なく、小麦は多収品種に切り替えたにも拘らず平年並みとなり支払共済金は31,168,183円となりました。



生育不良



### ●平成27年産麦共済金支払状況

支所	加入状況			損害評価高				
	戸数(戸)	面積(a)	共済金額(円)	戸数(戸)	面積(a)	支払共済金(円)	金額被害率(%)	
本所管内	佐波	17	8,873.3	39,235,387	8	3,906.3	1,883,144	4.8
	本所(吉山)	79	76,856.6	269,424,854	36	27,241.8	11,121,351	4.1
	厚狭地区	38	13,284.7	60,657,677	16	6,608.6	6,399,330	10.5
	阿東	7	3,410.2	1,371,939	3	692.4	88,851	6.5
東部管内	阿武荻	5	1,147.1	715,821	2	644.4	33,159	4.6
	東部総合	8	863.4	3,030,984	4	548.2	867,910	28.6
	田布施	15	7,757.4	33,021,871	7	3,118.7	2,041,035	6.2
西部管内	周南	6	2,000.5	8,255,188	5	1,911.2	1,269,463	15.4
	西部総合	41	22,525.6	20,770,855	24	12,100.0	2,398,511	11.5
	長門	4	2,323.9	7,792,416	2	1,648.6	3,442,210	44.2
組合	美祢	36	21,012.1	8,492,272	18	11,475.7	1,623,219	19.1
	一筆方式	4	215.9	125,188	0	0.0	0	0.0
	災害収入共済方式	252	159,838.9	452,644,076	125	69,895.9	31,168,183	6.9
方式計	256	160,054.8	452,769,264	125	69,895.9	31,168,183	6.9	

## なし【果樹共済】

平成27年産なしは4月22日の降霜により果実の損傷が見られましたが、被害果数は平年より少なく、生育は順調に推移していきました。

収穫を間近に控えた7月17日の台風11号及び収穫開始直後の8月25日の台風15号により

果実が落果し減収となりました。生育期に若干の被害を受けたものの、平成27年産は高品質梨となり、支払共済金は78,787円となりました。



台風15号による落果



### ●平成27年産なし共済金支払状況

支所	加入状況			損害評価高			
	戸数(戸)	面積(a)	共済金額(円)	戸数(戸)	面積(a)	支払共済金(円)	金額被害率(%)
西部管内 美祢	22	1,453.0	94,182,000	1	52.0	78,787	0.1
組合計 災害収入共済	22	1,453.0	94,182,000	1	52.0	78,787	0.1

## 茶【畑作物共済】



霜被害

カンザワハダニが増殖し新芽を食害

平成27年産茶は、4月18日の降霜により新芽の枯死や萌芽の遅れ等により収量の減少や品質低下の要因となりました。更に、降霜の被害を受けた圃場において収穫期にカンザワハダニによる新芽の食害等も併発し支払共済金は501,662円となりました。



### ●平成27年産茶共済金支払状況

支所	加入状況			損害評価高			
	戸数(戸)	面積(a)	共済金額(円)	戸数(戸)	面積(a)	支払共済金(円)	金額被害率(%)
本所管内 厚狭地区	9	1,260.2	5,209,000	2	308.0	501,662	9.6
組合計 災害収入共済	9	1,260.2	5,209,000	2	308.0	501,662	9.6

佐波支所

水島 三津子さん(48歳)

## 大人気! 徳地とりたまの里

昨年(平成27年)8月にオープンした山口市徳地の「徳地とりたまの里」の「たまごかけごはん」が人気を呼んでいる。特徴は、なんといっても毎朝採れた新鮮なたまごを使用していることと、それに合わせて開発したオリジナル醤油「とくぢ米味噌使用玉子かけ醤油」だ。従業員の水島三津子さんによると、玉子かけ醤油は、味噌の風味がして甘くておいしく、お客さんの反応も上々という。「ぜひ、たくさんの方に食べて頂きたい」と話している。

【徳地とりたまの里】

年中無休 営業時間は、10時～17時(ラストオーダー16時)



「醤油は、玉子かけ醤油(右)に加え、徳地産の佐北醤油(左)の二種類あり」と水島さん。

阿東支所

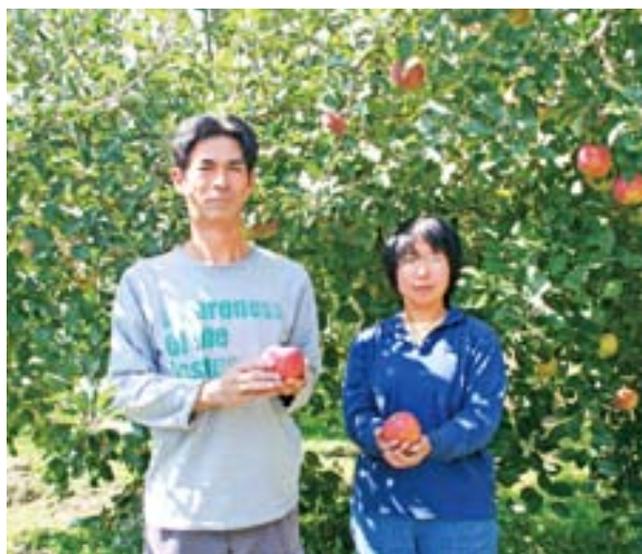
村本 佳寿さん(45歳) 千尋さん(31歳)

## 大自然に囲まれて 夫婦二人三脚でりんご作り

「お客さんに支持してもらうためにも、独自の味を追求したいです」と話すのは、りんご農家に新規就農した村本さん夫婦。平成26年4月に徳佐りんご園で村本園を開園させた。現在15品種を育てているが、品種それぞれの癖を覚えることが大変で、日々勉強に励んでいる。

「ぐんま名月という品種はぜひ食べて欲しいりんごです。抜群の甘みがありますよ」と語る佳寿さん。

今後は、手探り状態ではあるが5～6年後を目標に、自分たちの納得のいく味のりんごを作りたいと話す。



厚狭地区支所

田中 康弘さん(53歳)

## 地元産のお米でスイーツの店 「たちくま米工房」

宇部市厚東立熊で地元産の食材を使い、加工・販売するスイーツ店を4戸8人で立ち上げた。田中さんは、地域発展のため、立熊で取れたお米や卵を使用したシフォンケーキやさくら餅などの商品を製造・販売する。菓子作り担当の秋本幸恵さんは、「米粉100%です。新鮮で安心な地元産ものにこだわり、しかも添加物はいっさい使っていません」と話す。おすすめは、米粉のロールケーキ。ふわふわした食感と中心に入っている季節の一品(この時期、あんのういも)を使ったものが絶品です。

問い合わせ【たちくま米工房】予約販売中心

電話080-1925-1821(10時～13時)





東部総合支所

渡邊 訓明さん(64歳)

チョー

## 超リアルかかしでスズメ退治

岩国市周東町の渡邊さん宅の庭にご近所さんが集合…と思いきや、実は中央にいる渡邊さん以外は全員かかし。かかしはすべて渡邊さんの手作り、座った姿勢や手押し車を押す姿は本物の人間そっくりで地域の話題となっている。「最初はスズメを追うためのシンプルなものでしたが、より効果大きいものと思い、リアルなものを作るようになりました」と話す渡邊さん。

かかしは秋には田んぼに出動するが、そのほかの季節は庭で道行く人々を楽しませている。



田布施支所

池本 政信さん(38歳)

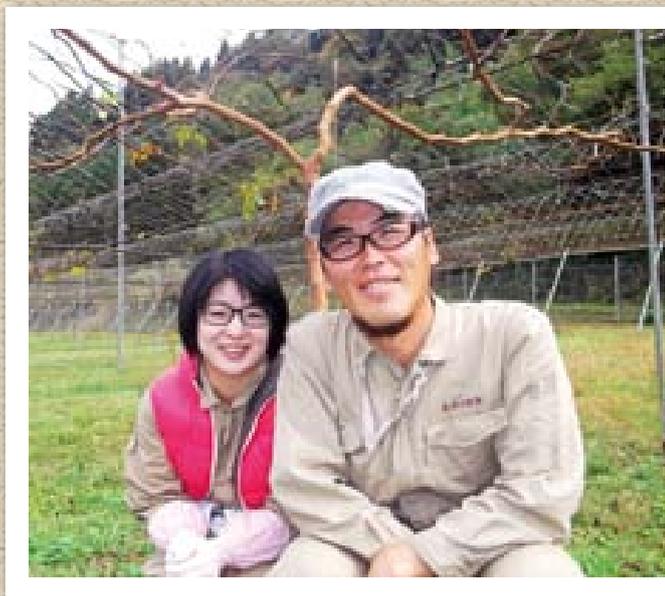
## 攻めの農業めざし 目標は経営規模100㌔

「経営的に成り立つ農業を行うためには、攻めていかなければ駄目です」と話すのは柳井市新庄の「ライスセンター池本」の後継者池本政信さん。

現在は父親の孝吉さんと一緒に、約24㌔を作付けしており、乾燥調製も約15㌔を農家から請負っている。

「今後も、大型機械の導入と省力化を行い、効率化を目指します」と話す。

また、「有機栽培など付加価値の付いた米の栽培も考え、法人化への移行も視野に入れていきます」と将来を見据えている。



周南支所

福本 直樹さん(39歳)

## 田舎暮らしにあこがれて

周南市須金の福本直樹さんは荒廃した園地を自ら開墾し、ブドウ農園「ふくじろう」を立ち上げて今年からブドウの収穫・出荷を開始した。

「田舎で農業をしたい」という夢を叶えるため、4年前に大阪からターン。以前は公務員だったという福本さんは「安定した収入がなくなる不安は少しありましたが、妻の理解もあったので決意することができました」と話す。

現在は妻の梓さんと子供2人の4人暮らし。「研修でお世話になった農家の方や地域の方々が、私たちの事を温かく見守ってくださるので日々、感謝しています」と笑顔で話してくれた。



西部総合支所

藤村 辰高さん(76歳)

### 長い歴史をもつ「角島牛」の畜産も 残念ながら幕を閉じることとなりました

下関市豊北町「角島」は島の半島が牛の角に似ている事からその名がつけられたといわれます。「万葉集」の時代から畜産が盛んで文献にも残されています。この島で畜産を営む藤村辰高さんが最後の畜産農家でしたが、このほど高齢という事もあり、いよいよその歴史を終えることとなりました。「子牛の出荷が何よりの励みでしたが、やはり寂しいです」と藤村さん。長い間本当にお疲れ様でした。



美祢支所

森岡 靖男さん(71歳)

### すす竹細工でリアルな表現を追求

美祢市西厚保町の森岡靖男さんが、農作業の合間に取り組んでいるのは、すす竹細工。すす竹とは、古民家の屋根用垂木などに使われた竹が、いろいろの煙で100年以上もの長い年月をかけて燻されたもので、非常に堅く、竹の内側まで赤褐色なのが特徴だ。「材料が入手しにくいのが悩みですが、作品を見た方から『癒される』と言われると嬉しいです。目標は、すす竹細工でいろんな昆虫の標本を作ること」と話してくれた。



Kirara

きらら

遊ぶときはしっかり遊び、  
メリハリをつけて  
仕事もガンバル

山口市 きむら ひろみ  
木村 浩美さん

大学卒業後、地元で就職して2年目になります。休日には運動をしたり、友人とイベントに参加したりしています。旅行が好きで、シルバーウィークには友人と北陸に行き、大自然や名所を巡ってリフレッシュしてきました。最近ではスイーツマラソンに参加したり、着物で萩の街を散策したりしました。遊ぶときはしっかり遊び、メリハリをつけて仕事も頑張りたいです。

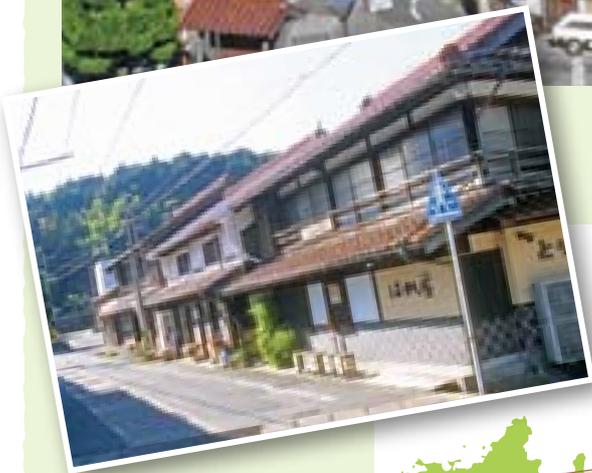


やまぐち散歩道

萩市 萩往還の宿場町 佐々並市地区

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定

佐々並市地区は萩城下町と三田尻を結ぶ「萩往還」の中間に位置することから宿場町として栄えました。当時の町並みの特徴が色濃く残っていることから平成23年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。歴史的風情を感じさせる赤瓦の町並みを巡ってみてはいかがでしょうか？



応募方法

- ①第1問の答え
- ②第2問の答え
- ③〒 住所
- ④氏名(ふりがな)
- ⑤年齢
- ⑥電話番号
- ⑦NOSAIへのご意見  
ご要望などを自由にお書きください。

52	7540002	山口市小郡下郷2276番地6
	NOSAI山口	
	「NOSAIクイズ」係	

- 官製はがきに上記の要領で記入してください。またはメール(kikaku@ymgc-nosai.or.jp)でも受け付けます。
- 締切 平成28年1月30日(土)(当日消印有効)
- 正解者の中から抽選で20名様に粗品を進呈します。(正解はNo.8号で発表します)
- ※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。
- ※たくさんのご応募をお待ちしております。
- ※応募はがきにご記入いただいた個人情報は景品の発送、お便りの紹介のために使用することがあります。

今回はクイズが2つあります。それぞれにお答えください。

NOSAIクイズ

第2問

みんなのひろばの森岡さんの目標は、すす竹細工で何の標本をつくることでしょうか。



- ①鳥
- ②昆虫
- ③花



前回のNOSAIクイズの答え  
第1問：農林水産省 第2問：くろちゃん

多数のご応募ありがとうございました。

## 家畜課

家畜共済の加入者の皆様へ

### 踏み込み消毒を 行う際の消毒薬を 幹旋しています

近年、口蹄疫などの悪性伝染病が問題となつています。消毒の目的は、これら伝染病の病原体を持ち込まないようにすることです。また、すでに畜舎内にある病原体を外に持ち出さないこと、畜舎内にいる病原体を除去する目的もあります。一年を通して、消毒を徹底して、大切な家畜を守りましょう。

NOSAIの家畜診療所では、踏み込み消毒槽を設置する際に使用する消毒薬を取り扱っております。消毒薬の幹旋を希望される方はお問い合わせください。

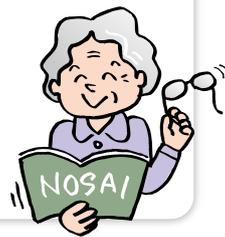


取り扱いのある消毒薬の種類および価格等のご相談は、お近くのNOSAIの家畜診療所まで

# ふれあい通信

山口市 K・Tさん 67歳

いつからでしょうか？急に明るく読みやすくなりました。表紙の写真も人目をひきつけます。記事もカラーでイラストもあり読みやすい。特に今回は「共済金算出例」がよく理解できました。文字の大きさもいい（一部、めがねが必要なところもありましたが……）次回が楽しみです。



今年度に入り、合併から1年が経過したということで誌面の構成、内容等を新しく作り直しました。皆さんに少しでも身近な記事をといてほしいので、NOSAI山口市の各支所でそれぞれの記事を担当しておりますのでこれからもよろしくお願ひします。

岩国市 I・Sさん 50歳

「みんなのひろば」で山口県の多くの人がさまざまな工夫をされているのが分かりました。アレルギー体質の人もOKのブドウ作りや、お米作りデビューの若い方など、農業は決してさびしいものではないと思えます。私も少しずつですが、母を先生としてチャレンジしたいです。



最近ではスーパーなどで生産者の写真や名前が表記されていることが多いですね。そういったつながりが感じられるところでも、農業のあたたかみが感じられますね。

山口市 A・Yさん 4歳

かんたんおいしいクッキング。ママのお手伝いができてうれしいです。



広報誌が家族団らんの役に立ってうれしいです。ママの言うことを聞いて、気をつけておいしい料理をつくってね。

山陽小野田市 S・Fさん 76歳

台風15号でハウスのビニールが飛んでしまい、もう30年前のハウスはボロボロ。もうガツカリですが寒くなるまでに頑張ってくださいにしますぞ！



台風の被害にも負けない強い気持ちをお持ちです。寒い冬ですがハウスで栄養満点のおいしい野菜をつくってくださいね。



# 「暖冬など気象現象への対策の基本は、田畑の記憶を記録すること」



受講される読者の立場でレポーター村上が初心者としていろいろな質問を山本先生にお聞きしました。

◆取材 村上 郁子(岩国市在住)

山口大学  
農学部教授  
山本 晴彦 先生

「気象と農業」の関係に取り組み続けている第一人者、「自然災害」「作物生産科学」「農業環境学」と研究分野は多岐にわたる。山口県の「防災会議」のメンバーとして防災の最前線で指導に当たられ、NPO日本防災士会山口県支部長も務められている。



水田用水汲み機。地下水を溜め、太陽で温めて流す。

## 1 暖冬と農業の関係は？

気温が平年値（過去30年間の平均気温・10年ごとに更新）より0.5℃以上高い冬を暖冬と呼んでいます。専門家の解析でもわが国の平均気温はこの百年間で1.6℃上がり、特に冬場の最低気温が高くなっています。山口市でも90年代以降は、日最低気温が0℃未満で氷が張るといった冬日は減り、積雪も多くありません。地上気温が3℃以下なら降雪になりますが、3℃以上では降雨となります。

暖冬だと植物の生長は早まりますが、低温不足で十分な休眠ができなかったり、放射冷却による突然の冷え込みによつて凍霜害が生じて生育にばらつきが出ることもあります。農作物にとつて暖冬が良いとは一概に言えませんし、「暖冬の年は冷夏になる」と言われていますが、これも一概には言えません。

## 2 どんな対策が考えられますか？

農家それぞれが自分の田畑をしつかり観察して「記憶を記録する」ことです。農地と作物が気象からいかなる影響を受け、どう対応してどんな結果となったか；経験を記録しておけば後々の判断材料となります。今の時代、気象データなどの情報は世にあふれていますが、大切なのは自分の田畑の個性を把握し、それに合った情報を選び取って活用し、豊作や品質向上につなげることです。

## 3 中国の農業を頻繁に視察されている先生は、中国産農産物との差別化をどうお考えですか？

現在の中国は、サハリン（旧樺太）とほぼ同緯度にある黒竜江省（旧満州）の同江でも米を作っています。高緯度地帯での稲作の拡大には温暖化も影響しています

が、冷害に強い日本の品種を親に用いた稲の育成が貢献しています。一方、日本の強みは空気と水がきれいなこと。そして、丁寧な偽りなく作るという伝統も見逃せません。肥料偽装などは日本の農業にはあつてはならないことです。作物も土壌も診断・管理して安心安全な作物を作り、新鮮な状態で出荷するという誇りを受け継いでいってほしいですね。

気象災害等の軽減対策としては、複数品種の生産を心がけ、リスク分散させることです。記録と経験を生かした生産に努めていても、思いがけない気象災害に見舞われる場合もありますが、一品種に偏ることなく、いろいろな品種を作っておけば大きなダメージは避けられます。減農薬をはじめ、手間暇かけて質の高い作物の生産を追求していくことが今後の農業には必要でしょうね。



中国でも近年は多種類の米が販売されている。



中国の稲作の北限、同江。(戦前には、同江にも満蒙開拓団があった。黒竜江省 ロシア国境地区)

# 「おせちの残りでおいしい一品」

一年の無病息災、家の繁栄を願っていただく「おせち」。  
余すところなくおいしく食べたいものですね。  
ちょっとしたアイデアで新しい一皿に生まれ変わります。



シニア野菜ソムリエ、食育プランナー

花井 綾美

広島大学教育学部卒業。農産物の販売促進の仕事をつかきかけに食と農に興味を持ち、野菜ソムリエの資格取得。農水省をはじめ県市町村、学校、企業主催の食育講演講師、野菜料理教室、TV・ラジオ、新聞コラム執筆、農家さんとのコラボレーションによる食と農のイベントなどより良い食を広める活動を行う。広島県健康大使、著書に「100万人の幸せごはん」。



あまったおせちの  
アフターユースメニュー!

## 黒豆で「クリームチーズディップ」



### ◎材料

黒豆…50~60g  
クリームチーズ…100g  
胡桃…10個

### ◎作り方

クリームチーズと水分を切った黒豆と砕いた胡桃を混ぜ合わせます。薄く切ったフランスパンやクラッカーにのせてどうぞ。お正月のおもてなしにも。

## 田作りで「炊き込みご飯」



### ◎材料

米…2合  
田作り…20~30g  
昆布茶…小さじ1

### ◎作り方

炊飯器にご飯を炊く要領で米と水をセットし、田作りと昆布茶を加えてスイッチを入れるだけ。田作りに濃い味がついているので調味料はほとんど不要です。お煮しめの余りがあれば、細かく刻んで炊きあがったご飯に混ぜ込んでもいいですね。



## 裏宮島



大晦日から初詣でにぎわう安芸の宮島。宮島といえば神社と大鳥居のあたりが観光の中心ですが、わたしが好きな宮島は「裏宮島」と勝手に名づけた山側の古道。静かな民家がひっそりと建ち並ぶ静かな山道から遠く瀬戸内海と五重塔が望めます。おでかけの際にはぜひ立ち寄ってみてください。



ナベヅル

### 表紙 写真

撮影者 竹重 満憲  
(岩国市在住)

### 周南市八代のナベヅル

表紙は1970年代後半の周南市八代のナベヅルの写真で渡来数はまだ百羽に近かったが、環境の変化で今は渡来数が減少。本州では唯一の越冬地となっており、刈り取りを終えた田んぼでエサをついばむ姿は八代盆地の風物で、地域の人達に大切に守り続けられている。全長は1メートル程度、子どもの背の高さくらい、羽を広げた長さは1メートル80cmほどで、勇壮な飛姿は貴重な景色となっている。

## 山口県農業共済組合

### 本所

〒754-0002 山口市小郡下郷2276番地6  
TEL 083-972-7500 FAX 083-972-1811

### 東部総合支所

〒742-0417 岩国市周東町下久原484番地3  
TEL 0827-84-0041 FAX 0827-84-0053

### 西部総合支所

〒759-6301 下関市豊浦町大字川棚6880番地1  
TEL 083-772-2211 FAX 083-772-2588